

おはなしワールドだより

2022年10月

高学年

みなさんこんにちは。秋ですね～。

みなさんは、読書の秋？スポーツの秋？それとも食欲しょくよく？
おはなしワールドから、おすすめの本をしょうかいします。
写真絵本しゃしんや、絵の美しい芸術げいじゆつ的な本もあるので、
読書の秋も楽しんでみてくださいね。

秋のおすすめの本

ラッセのにわで

エルサ・ベスコフ作・絵 / 石井登志子訳



ラッセのにわで

作・絵：エルサ・ベスコフ

訳：石井 登志子

徳間書店

ラッセという少年であがにわで出会ったのは「九月くがつ」くん。ラッセのボールを2人でおいかけながら、りんごふじんやなしおじさんといった、花ややさいの精せいたちに出会います。画家ががでもある作者が、美しい秋をえがいた本です。



エリック・カールのイソップものがたり

絵：エリック・カール

訳：木坂 涼

偕成社

よく知られたイソップの11の話をエリック・カールが再話し、絵をつけた本。それぞれの話のさいごには、エリックカールからのメッセージが添えられています。色あざやかな絵とともに楽しんでください。



カカ・ムラド〜ナカムラのおじさん

原著：ガフワラ 文：さだまさし

双葉社

2019年12月4日、中村哲医師は、支援先のアフガニスタンで銃でうたれて亡くなりました。その功績を伝えるためにアフガニスタンでしゅっぱんされた2冊の絵本に解説を加えて日本語でまとめられた1さつです。事実をもとに書かれたお話と、空想のお話、ぜひ読んでみてください。



ゆうこさんのルーペ

作：多屋 光孫

企画・原案・編集：芳賀 優子

監修：藤井 克徳

合同出版

ゆうこさんは目がよく見えず、大好きな本を読む時はルーペをつかいます。はやたくんがそのルーペをかりると…。はやたくんがルーペで昔をのぞいてみて感じたことは？



ゾウの森とポテトチップス

写真・文：横塚 眞己人

そうえん社

ボルネオ島^{とう}には、さまざまな生きものたちがくらしています。この島^{しま}と私たちがふだん食べているポテトチップスには、実はとても深い^{むか}つながりがあるのです。



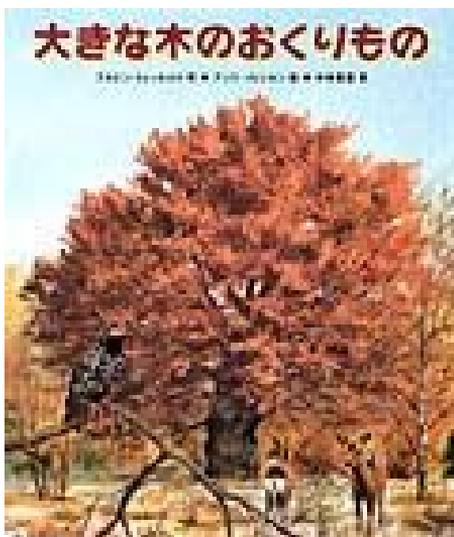
そのこ

作：谷川 俊太郎

絵：塚本 やすし

晶文社

あまくておいしいチョコレート^{げんりょう}の原料となるカカオは、西アフリカのガーナという所でとれます。ガーナでカカオ^{しゅうかく}を収穫している「そのこ」と、日本にいる「ぼく」のちじょうをえがいた本。



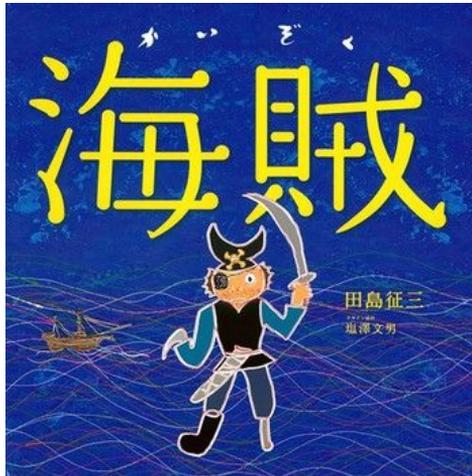
大きな木のおくりもの

作：アルビン・トレッセルト

絵：H・ソレンセン

訳：中井 貴恵 あすなろ書房

1本の大きなナラの木は、いきものたちのすみかになります。やがて、木はくさっていき、ついにはたおれてしまいます。死んだ大きな木は、それでもいきものたちに^{めぐ}恵みをもたらします。画家のうつくしい絵も、じっくりながめてしまう1冊^{さつ}です。



海賊

作： 田島 征三

デザイン設計： 塩澤文男

ポプラ社

自由気ままに一人、海に住んでいた海賊。ある日、人魚を一目見るなり、恋におちてしまった！二人が仲良くなったのもつかの間、人魚はふたたび姿をかくしてしまう。なぜ？海の問題を考えるきっかけにもなる絵本です。



プラスチックのうみ

作： ミシェル・ロード

絵： ジュリア・ブラットマン

訳： 川上 拓土 小学館

この本はもともと英語で書かれた本でした。その本を、英語と環境問題に関心のあった小学5年生が、日本語にほんやくしました。2050年には、海にすむ魚の重さより、海にただようプラスチックごみの重さの方が重くなるのか？！

一緒に海のことを考えてみませんか？

保護者のみなさま

おはなしワールドだよりは、子どもたちのお父さん、お母さんが中心となって作成し、発行しています。

おはなしワールドの活動に興味のある方は連絡下さい。

メンバーは随時募集中です。

おはなしワールドの連絡先

メールアドレス ohanasiworld@gmail.com



子どものころに読んだ懐かしい本に出会ったり、子どもとの会話が增えたり、おはなしワールド、楽しんでます！

